

第18回

# メディアとことば 研究会

日時

2007年6月2日〈土〉午後3時—6時30分

場所

〈関東会場〉東洋大学 白山キャンパス 3号館 1階ナレッジスクウェア

会場URL <http://www.toyo.ac.jp/campus/hakusan.html>

〈関西会場〉武庫川女子大学 日下記念マルチメディア館 (通称 MM 館の MM-108)

会場URL <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~jouhou-c/shoukai/access.html>

発表者・講演者

【発表】

西尾純二 (大阪府立大学人間社会学部講師)

『ローカル情報番組にみる方言使用の地域差』

キーワード▶ テレビ、ローカル情報番組、スタイル、言語変種、話者属性

田村 紘 (元新聞記者)

『社説の主張を文法形式から考える—朝日と読売の提言形式とモダリティ比較—』

キーワード▶ 「働きかけ」、当為判断、希望表現、出現頻度、前接述語、出現段落位置

参加ご希望の方は竹野谷みゆき (takenoyal@toyonet.toyo.ac.jp) までご連絡ください。

過去の活動等はメディアとことば研究会 HP をご覧ください。 <http://www.hituzi.co.jp/kenkyukai/media-kotoba.html>

【好評既刊！】

## メディアとことば ② 【特集】組み込まれるオーディエンス

三宅和子・岡本能里子・佐藤 彰編 本体価格 2400円+税

- ニュース番組における「おしゃべり」——キャスター同士の会話は何をしているのか——●村松賢一●バラエティ番組における文字テロップの役割——発話理解のしくみを探る——●塩田英子●『クローズアップ現代』の〈物語〉——メディア・テキストの批判的分析——●高橋圭子●「広告」はいかにして「広告」に見えるのか——「メッセージ」としての「リスク」の理解に向けて——●是永論, 酒井信一郎●身体の動きの表象を「自然に」読むということ——エスノメソドロジー研究によるテキスト分析——●岡田光弘●広告メディアとしての子ども向け雑誌——「コロコロコミック」における商品紹介記事の登場とその変容——●森山由紀子●ネット日記における読み手を意識した表現——公開意識との関連から——●岸本千秋●携帯メールの話しことばと書きことば——電子メディア時代のヴィジュアル・コミュニケーション——●三宅和子●

『メディアとことば 3』  
只今、編集中!

学術論文を  
まとめませんか？

ひつじ書房では言語学や日本語学、言語教育、民族学などの編集経験と技能により文学と言語、社会とコミュニケーションを横断する研究を支援します。5歩先を行く研究を出版したいと考えています。新しいタイプの紀要「接続」などもつくっております。学術同人誌の刊行もお引き受けいたします。お問い合わせはご遠慮なく〈[toiawase@hituzi.co.jp](mailto:toiawase@hituzi.co.jp)〉宛にメールでお願いいたします。



ひつじ書房

〒112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル2F

TEL▶03-5319-4916 FAX▶03-5319-4917 e-mail▶[toiawase@hituzi.co.jp](mailto:toiawase@hituzi.co.jp) <http://www.hituzi.co.jp/>